谷川俊太郎、画

## かべとじめん その柔らかな響きの詩が 読むようになり、すぐに 三輪途道

好きになった。 残念ながら親友は間も

さんの詩を読むと、彼を この世に残された。谷川 なく天国に旅立ち、僕は 壁を乗り越える2人 詩人である谷川さんの生 90歳を超えてなお現役の 川さんの詩を懐かしい思 いとともに眺めながら、

思い出して悲しくなって 命力の強さを感じた。 方、下仁田町ご出身

ットで、親友は「谷川さ

たSNSのグループチャ ために同級生たちと作っ られ、病床の彼を励ます のがんであると打ち明け 学生時代の親友から末期 は3年前の冬のことだ。 よく読むようになったの

谷川俊太郎さんの詩を

え、再び谷川さんの詩に 置くようになった。 しまうから、少し距離を やがて僕の心の傷が癒 の三輪途道さんという なってからの柔らかでユ ふれる作品と、見えなく ーモラスな作品。とても ヤープで繊細で躍動感あ

だ。「かべとじめん」と いうレリーフに寄せた谷 之条ビエンナーレの会場 か、仕事ぶりを知りたく 目が見えないのにどうや って作品を作っているの う方にますます興味を持 群に触れ、三輪さんとい

て、僕も谷川さんの詩を に少しでも寄り添いたく 舞いに行くことができな

巡り合ったのは去年の中

たのは、つい最近のこと。

同じ人とは思えない作品

全盲の彫刻家」を知っ

コロナ禍で病院にお見

。遠くからでも彼の心

いる」と語っていた。 んの詩に元気をもらって

つようになった。

会を観に行った。 なり、会社を半日休んで 館林の県立美術館の展覧 目が見えていた頃のシ を乗り越える三輪さん。 お2人がコラボして作っ ん。視覚障がいという壁

条で見た「かべとじめん」 のレリーフを制作したこ

の前に現れた。年齢とい が本になって再び僕の目 だ。世の中のつながりの とを知ったのもその時 不思議さを感じた。 今、「かべとじめん

三輪さんが、僕が中之

変える力を持つ。だから 読書が好きだ。

.肥後秀明・日本銀行

(メノキ書房・187

う壁を乗り越える谷川さ

良い本は人の生き方を

べき勇気をもらった。

た作品に、僕がやがて大

を乗り越えるために持つ

きな壁を迎えた時にそれ

前橋支店長)